

Q. 災害等で水道が止まってしまったら？

(各 10 択＋その他／複数回答) n=486

◇昨年から引き続き、行政等の救援の水に期待

災害により家庭の水道が止まってしまったら、昨年と同様、「飲用」「料理」「風呂」「洗面」のトップは「救援用・行政の給水を待つ」という結果になりました。

また救援・行政に頼るだけではなく、「飲用」「料理」は「常備してある水」を利用、また「風呂」「洗面」については「水を使わないですませる」といった自分たちで対処する方法も想定していることがうかがえます。

災害等で水道水が使えなくなった時の対処方法 (複数回答／単位：%)

	飲用	料理	風呂	洗面	水洗トイレ
救援用・行政の給水を待つ	①67.9	①66.0	①40.1	①49.6	③28.6
常備してある水	②65.6	②53.9	5.6	③21.8	7.2
近所・親戚の人に分けてもらう	③19.8	③18.3	6.6	9.9	5.6
雨水を使う	8.8	7.0	③18.5	18.9	①45.7
川の水を使う	3.3	2.9	12.1	10.9	②30.0
水は使わないですませる	1.6	11.3	②35.4	②22.2	19.8

Q. 大震災時に火災にあう可能性は？

◇全体の約 4 割が「ある」と答えている一方で、「わからない」は約 5 割

大震災時に火災にあう可能性は「ある」(40.3%)、「ない」(8.6%)、「わからない」(51.1%)という結果になりました。地域別に比較すると、中京圏で「ある」と答えた人が 34.4%と他地域と比べて低めでした。東海地震が発生した場合大きな被害を受ける恐れがある中京圏ですが、震災による火災への意識は他地域よりも低い結果となりました。

